

岡山勝廣 後援会だより



創ろうみんなに住みよい六ヶ所村を

第20号

平成21年3月



発行元 岡山勝廣後援会 〒039-3215 六ヶ所村大字倉内字笹崎 1031-11
TEL 0175-74-2557 (FAX兼)
ホームページ: <http://www.kokayama.com/>
メールアドレス: koka@jomon.ne.jp

トピックス

岡山勝廣さん、一般質問に立つ

質問 消防団員の減少に対する取組のその

後の進行状況について (1~2ページ)

質問 六ヶ所村高齢者無料入浴券交付の

運用について (2~3ページ)

質問 六ヶ所村役場職員に対する人材育成

の方策について (3~4ページ)

平成21年度 六ヶ所村予算

平成21年度 畜産・酪農関係予算

(4ページ)

岡山勝廣議

員が村議会3

月定例会にお

いて、一般質

問を行いまし

た。その様子

をお知らせし

ます。



平成21年3月 六ヶ所村議会定例一般質問

(1)消防団員の減少に対する取組の
その後の進行状況について

岡山さん

十九年度の第一回定例会に於いて、当村の消防団員の減少に対する取組について質問致しておりました。当村のみならず、各自治体における消防団員の減少が大きな課題となっており、その機能が憂慮されております。

年々進む少子高齢や就労の構造変化により消防団員の確保は年々厳しくなっております。

これについて村では、消防団員の確保が困難であるときは、市町村の実情に応じて大規模災害の特定の活動に限定して参加する機能別団員・機能別分団制度や消防活動に貢献する事業所を社会にアピールする消防団協力事業所表示制度等を活用し、地域住民や事業主の理解活動を積極的に進め、

消防団員確保に取り組みながら、準消防団機能を持ったシステムを考え、そしてその中には役場職員の方々も関わる様な形で構築する事についての検討、又、女性消防団員の拡大につきましても女性が参加しやすい環境づくりを検討するとありました。そこで、その後の進行状況がどの様になっているのかお伺い致します。

吉村長

の回答

当村の消防団任務は、火災・地震・風水害はもとより、石油コンビナート火災や原子力施設における事故等、消防団が担う役割は、年々、多様化・複合化の傾向にあり、地域住民の生命・身体・財産を守る使命の下、平和な住み良い生活環境の確保を図る視点から、大変重要な組織であると認識しているとともに、生業の傍ら昼夜に関わらず献身的に活動して頂いておりますことに深く感謝しているところであります

国においては、そのような重要な任務を担う消防団が、全国的に団員確保が困難で

減少傾向にあることを踏まえ、団員確保を図る視点から、平成十七年に特定の活動、役割のみに参加する「機能別団員」、「機能別分団」等を導入し、制度の多様化を図ってきております。

当村の現状は222名の定数に対して、定年等による退職団員によって、充足率は約95パーセント程度で維持しております。

しかし、団員の年齢構成を見ますと、50歳以上の割合が高く、このままの状態ですと、将来的には、消防力の充実強化に資するための条例改正等、抜本的対応が求められる事態も想定されるところであります。

また、消防団協力事業所表示制度の導入については、当村の消防団の就業形態を見ますと、半数以上が会社員等の被雇用者であり、将来的にも、増加するものと見込まれ、事業所の協力なくして消防団員の確保は極めて厳しいものと思慮されるところであります。安定した消防団員の確保を図るためには、なんと申しましても地域住民の理解とご協力がなければなりません。とりわけ消防団と

事業所等の連携・協力体制をより一層強化し、地域における消防・防災体制の充実化を図るために制度の導入に向けて、認定基準及び実施要領の検討など具体的運用方法等について検討してきたところであり、その結果この制度導入は有効なものと思っております。

今後、関係機関と協議の上、平成21年度導入を目指して取り組んで参りたいと考えております。

(2)六ヶ所村高齢者無料入浴券交付の運用について

岡山さん

六ヶ所村では永年にわたり社会貢献した高齢者に対し、六ヶ所村高齢者無料入浴券を交付し、入浴の促進を通じて、高齢者の生きがいと健康増進の取り組んでおりますが、その利用に関する現状と実績をお伺い致します。

又、無料入浴券交付要綱には、『入浴券の交付対象者は、毎年3月31日現在お

て、本村の住民基本台帳の登録されている者で、満70歳以上の者とする。』とあります。

年齢の基準につきましては様々なとらえ方が有ると思いますが、主に高齢者に対する公的サービスについて年金や高齢求職者給付金等の様に基準年齢に達した誕生日以降にすぐ対象に成るよう考慮されております。

無料入浴サービスや無料バス運行など高齢者に対するサービスは様々な自治体で行われております。その中で対象者の要網は年一回の区切りだけで無く、その対象となる年齢に達した誕生日以降の申請で有効になるような要網が多く見受けられます。

当村に於いても、永年にわたり社会に貢献した高齢者に対し尊敬といったわりの気持ちを持って、高齢の立場に立った柔軟な運用が出来ないかをお伺い致します。

吉川村長

この事業は70歳以上の高齢者の生き

がいと健康増進に資することを目的に、平成18年度から実施しており、村内4か所の浴場で年50回まで利用でき、また温泉までの交通手段の無い方のために週2回の送迎バスを運行して利用者の利便性を図っているところもあり大変喜ばれていると認識しております。

また利用実績は、対象者で18年度・19年度ともに1500人中1100人、利用率73%となっております。

入浴券で18年度・19年度とも総交付枚数約75000枚中、利用者数33000枚、利用率44%となっております。

金額では18年度約一千万円、19年度約一千万円となります。

議員ご指摘の通り対象者の年齢基準を毎年3月31日現在で満70歳以上と定めております。

事業をスタートさせてから、3年が経過し、年齢基準についても理解されつつあると思いますので、今しばらくは現状で運用したいと考えております。ご理解を賜りま

すようお願い致します。

(3)六ヶ所村役場職員に対する人材育成の方策について

岡山さん

村においては、これまで職員の行政能力向上に向け職員の外部派遣等を実施していると伺っております。また、昨年度から大学における修学を可能とする休業制度の設定など、様々な取り組みを実施されているところでは有りますが、現在当村は原子燃料サイクル施設をはじめ、ITER計画と並行して取り組まれるプロジェクト「幅広いアプローチ」での国際核融合エネルギー研究センター、又、世界で初めて蓄電池併設の風力発電所が立地されるなど、我国のエネルギー政策の根幹を担う様々な事業が行われております。

これにより六ヶ所村のさらなる発展が図られ国際色豊かな村づくりが進められていく中、人材育成を目的として現在実施して

いる県に対する外部教育派遣のほか、国もしくはそれに準ずる組織まで拡大し、長期、安定的な外部派遣による人材育成に取り組むべきと考えますが、その必要性について村長の考えをお伺いいたします。

吉村長

経済社会の動向や村民意識の変化に対応し、活力ある行政を推進していくためには、実際に行政を担う職員の能力開発、人材の育成が不可欠であることは、十分認識しているところであり、ます。

このため、従来人材育成基本方針を見直し、平成19年4月に「新時代における人材育成基本方針」を定め、この基本方針に基づき職員自身が自発的に取り組む自己啓発を促進するとともに、職階層研修、専門研修、派遣研修等を体系的、計画的に実施してきたところであり、ます。

お尋ねの、国及びこれに準ずる組織への派遣

については、村政の主要施策を促進するにあたって地方分権の推進に伴い、その意義はますます重要となりますので、国等への人事交流や実務研修など派遣を推進したいと考えております。これまで、農林水産省との人事交流制度を活用し、毎年、職員への公募を行ってきたところであり、ますが、今のところ派遣までは至っていない現状にあります。

今後は職員が積極的になりに派遣の受けがでる環境体制を整えると共に、幅広い視野と村民役の視点に立ち、時代の流れに対応できる政策形成能力を備え、しかも意欲のある人材の育成に取り組んで参りますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

平成21年度 六ヶ所村予算

3月議会にて平成21年度の予算が議決されました。詳細は別紙にてお知らせします。

- 一般会計予算 127億5千万円
- 一般+特別会計予算 183億2千万円

平成21年度 畜産・酪農関係予算

- 1 畜産担い手総合整備事業（受益者負担金） 227,354 千円
- 2 (仮称) たい肥センター整備事業費 696,900 千円
家畜ふん尿処理を行い有機たい肥を生産して、資源循環型農業の確立を図る。
平成21年度完成 平成22年度操業。
- 3 堆きゆう肥促進事業助成金 4,500 千円
新規就農者に堆肥舎の整備を助成。1棟450万円を上限とする。
- 4 家畜ふん尿処理施設整備事業 37,576 千円
家畜排せつ物法施行により57戸の農家に対し、堆肥舎の整備費の45%を補助している。平成30年まで実施。